

今年もあとわずかとなりました。来年もよろしくお願ひいたします。
お休み中の予定や計画を楽しみながらも、規則正しい生活を心がけましょ
う。また、新型コロナウイルス感染症も落ち着かずインフルエンザも
通常であれば流行するシーズンです。手洗い、うがいをはじめとした感
染予防行動はお休み中も徹底するようにしましょう。

12月の感染症発生状況		
○新型コロナ感染者 3名	○ヘルパンギーナ 1名	○突発性発疹 1名
○ヒトメタニューモウイルス感染症 1名	○手足口病 8名	

お休み中も！感染予防行動

うがいと手洗い！

外出後、食前前は必ずせっけんを
使った手洗いとガラガラうがいを
セット！正しく手洗いできている
かチェックしてみましょう

外出時にはマスクを！

感染予防にもなりますが
もっとも大きい効果は
ウイルスをまき散らさない
ことがことです

室内の温度・湿度のチェック！

室温16℃～18℃、湿度60%
が目安です。特に乾燥には留意。
加湿器を上手に使いましょう

年末年始の急病は？

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さんの急な発熱やけがに備え
て事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認して
おきましょう。また、帰省中の救急病院の情報も確認しておくことが大切です。

油断できないかぜ

かぜは年齢が低いほど、中耳炎や気管支
炎、肺炎などを起こしやすくなります。気
管の弱いお子さんの場合は、のどがゼー
ゼーしたり、長引いたりする傾向がありま
す。早めに診察を受けましょう。

冬のかぜによくある特徴

- せき・鼻水・
のどの炎症・
発熱 → 呼吸器系にくるかぜ
- 下痢・おう吐 → 消化器系にくるかぜ
- 両方の症状 → インフルエンザの疑い

低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれ
ることで起こる「低温やけど」が増えています。
痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌
が赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意。

応急処置



痛みが和らぐまで流水で
冷やす。最低20分くら
いは冷やし続け、その後
病院へ。



広範囲のやけどは、冷水で
ぬらしたシーツなどで全身
を覆い、シャワーをかける。
その後病院へ。